

ウクライナ復興の支援に向けて

～時代のニーズに即した欧州復興開発銀行（EBRD）の
これまでの取組みを踏まえて～



令和5年6月21日（水）10:30～12:00

場所：伊都キャンパスイースト2号館D-103教室

講師：森嶋洋子 EBRD東京事務所 対外連携ヘッド

久米可織 EBRD銀行部門インフラ・チーム
アソシエート・バンカー

対象：九州大学及び福岡市内の大学の学生



講演要旨

EBRDは、ベルリンの壁崩壊後の旧ソ連諸国に対する移行支援に始まり、アラブの春直後の地中海沿岸諸国に対する支援や、最近ではトルコ地震の災害復興支援など、時代のニーズに応える形で、民間セクターへの金融支援等を通じて各国の復興や開発に貢献してきた。ウクライナの復興に関しても、積極的な役割を果たそうとしている。そこで、EBRDの5月の年次総会での決定も踏まえ、今後のウクライナ復興に向けた支援内容について、講演する。

欧州復興開発銀行について

中東欧地域、南・東地中海地域、中央アジア地域を対象に約40か国で民間セクターの活動を中心に積極的な支援を実施している。EBRDの支援する業種及びトピックはアグリビジネス、インフラ、運輸等、多岐にわたる。

申し込み締切日

令和5年6月20日（火）正午

お申し込みはこちらから ⇨



<https://forms.gle/NQTM5goaBSeHG7wS9>



※本セミナーは、九州大学大学院経済学府「リサーチワークショップ」並びに九州大学経済学部開講科目「世界経済」と合同で行います。